

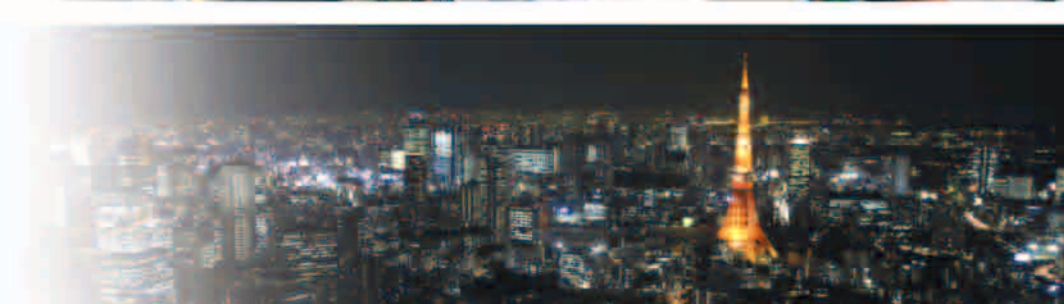
New Thinking,
New Partnership



Japan New Zealand Partnership Forum 2008

開催のご案内

2008年5月14日(水)・15日(木)



このたび、日本・ニュージーランド(NZ)パートナーシップフォーラムが、2008年5月に初開催される運びとなりました。このハイレベルフォーラムでは、両国のさらなる連携領域について招待参加者による自由な討論が行われます。

本フォーラムは、日本・NZ経済人会議、NZ大使館、ならびに日本のパートナーとの緊密な協力のもと、ニュージーランド インターナショナル ビジネスフォーラムが企画し、両国のビジネスおよび経済関係を強化することを目的としています。このイニシアティブは、両国政府、日本商工会議所、日本経団連、NZの主要企業や経済団体のCEOらの賛同を頂いております。

本フォーラムには、両国の政財界ならびに社会を率いるリーダーらが一堂に会します。テーマ「New Thinking, New Partnership」のもと、両国の政府とビジネスリーダーが、相互利益を促し、地域および世界規模のビジネスチャレンジにどのように協力できるのか、その方策を協議します。

Japan New Zealand Partnership Forum 2008

共同議長

議長は、日本とNZの発展に賛同する両国の著名なリーダーが共同で務めます。

日本側議長

宮内義彦 日本経団連アジア太平洋地域委員長（オリックス会長兼 グループCEO）

NZ側議長

フィリップ・バードン アジア・NZ基金会長、元通商交渉大臣

背景

日本とNZは、アジア太平洋地域におけるナチュラルパートナーです。両国の関係は、共通の価値観や利益、相当量の貿易と投資の流れ、強固な人的交流、そして拡大する政策協力によって維持されています。

両国の経済は極めて補完的です。日本はNZにとって第3位の輸出市場であると同時に、多くの観光客を送り出し、資源関連産業への多大な投資を行っています。二国間貿易は、NZ側の安全な食品や原材料の生産国としての強みと、日本側の、自動車、電気製品、進んだ工業製品における世界的リーダーとしての地位の上に成り立っています。このように、両国は相互利益を前提とした強固で長年にわたるパートナーシップを築いてきました。そして、これらの関係は、日本とNZの企業がグローバルビジネスを展開するために戦略的な提携を結ぶにつれて、ますます国際的な様相を帯びてきています。

日本・NZ関係のもう一つの特徴は、観光、学術、姉妹都市、友好協会等の交流を通じて長年にわたり育まれてきた絆の深さです。

現在の二国間関係が、強固かつ両国にとって価値あるものである一方で、アジア太平洋地域ならびに世界経済の急速かつ継続的な変化は、チャレンジと共にチャンスをもたらしています。既存の政治、貿易、経済関係は、両国のニーズと利益に見合った関係が維持されるよう、弛まぬ育成が必要です。この関係には、観光、金融、情報、文化交流、貿易、投資など様々な局面があり、そこに、両国経済の動向と世界で最も活気溢れるこの地域で日本・NZ双方が築いている他国とのより緊密な関係を反映させなくてはなりません。

今回初開催の本フォーラムでは、戦略的な対話と関係構築のための新たな基盤を提供することを目的としています。このような対話を通じて、本フォーラムは、ビジネスリーダー間のより密な関係を育成し、日本とNZ両国の生産性と生活水準を向上させる貿易・投資上の連携を構築していくことを支援します。

主催

本フォーラムは、ニュージーランド インターナショナル ビジネスフォーラム (NZIBF) ならびに日本とNZ両国のパートナーにより企画されています。

NZIBFの主体は、NZ大手国際企業の会長やCEOら、ならびに主要経済団体です。NZIBFは、様々な経済団体やNZ政府と共に、NZ企業がグローバル経済に完全に参入し、関わりを深め、国際的な競争力が十分に発揮されるように取り組んでいます。NZIBFは、対日ビジネス・経済関係を強化することを最優先課題としています。

本フォーラムを企画するにあたり、NZIBFは日本・NZ経済人会議ならびにNZ大使館を通して、日本の主要企業および経済団体と緊密に連携しています。

NZIBFについての詳しい情報は、<http://www.nzibf.co.nz> をご覧ください。

会場

5月14日の歓迎レセプションは、NZ大使館にて行われます。その後の2008年パートナーシップフォーラム全日程は、東京六本木の国際文化会館にて行われます。

国際文化会館は、美しい日本庭園と充実した会議・宴会場を擁する快適な施設です。会場についての詳細は、<http://www.i-house.or.jp> をご覧ください。会議の全ビジネスセッションで同時通訳がご利用になれます。



パートナーシップフォーラムの概要

ご招待限定

本フォーラムへのご参加はご招待限定とさせていただきます。日本とNZ双方からほぼ同数の参加者が各トピックに沿った意見交換を行います。これらのビジネスセッションに加えて、より幅広い関係者を招いた交流イベントも企画しております。

パートナーシップフォーラムは、両国政財界のリーダー、専門家らが一堂に会する会合となります。

テーマ

本フォーラムのテーマは、「**New Thinking, New Partnership**」です。

パートナーシップフォーラムの開幕

本フォーラムは、5月14日水曜日の夕刻、NZ大使館にて行われる歓迎レセプションより開幕します。このレセプションでは、マオリのアーティストによる文化的な催しも行われます。

ビジネスセッション

5月15日木曜日、参加者は国際文化会館に集います。本フォーラムは、チャタムハウス・ルール方式に則った複数のビジネスセッションから成り、高度かつ自由闊達で深い話し合いが進められるように組まれています。

議 題

各セッションにおいて著名なスピーカーの講演があり、参加者間の活気ある意見交換を促します。フォーラムは、率直で、自由な、ハイレベルでの対話が行われることを目指します。対話の核となるのは、日本とNZが共有する貿易・経済上の利益を協力して推進できるようなビジネスチャンスです。内容としては、競争が熾烈化する国際経済ならびに、特にアジア太平洋地域における安全保障と安定に対する新たなチャレンジが挙げられます。

フォーラムでは、その後のフォローアップ活動につながる幅広い数々のテーマについて議論します。

- ・ 共に歩むグローバル化—物品、サービス、資本市場の経済統合がもたらす両国ビジネスへの影響
- ・ 激動するアジア太平洋地域への対応—地域内の政治、安全保障、経済、人口上の変化および日本・NZビジネスへの影響
- ・ 新たなビジネス協力モデルの創生—大国と小国の企業が、イノベーション、伝統的産業、およびサービス業での相乗効果を利用して、どのような協力ができるのか
- ・ 新たな問題に取り組む共同努力—持続可能性や気候変動といった問題に日本とNZのビジネスが協力してどのように取り組むか

立夏の夜宴

木曜日のビジネスセッション終了後、カクテルパーティと日本料理をメインにしたブッフスタイルの夕食、日本をテーマにした催しが行われます。

ドレスコード

本フォーラム、ならびに歓迎レセプション、夕食会へのご出席に際しましては、ビジネススーツのご着用をお願い申し上げます。



プログラム

5月14日(水) 歓迎レセプション 場所:ニュージーランド大使館(東京渋谷)

時 間 内 容

18:30 開 場

19:00 歓迎の言葉
アーティストによるパフォーマンス

20:30 終 了

5月15日(木) パートナーシップフォーラム 場所:国際文化会館(東京六本木)

時 間 内 容

9:00 受付開始

9:30 オープニング・セッション
開会式および両議長の挨拶

9:50 日本・NZ両政府代表による基調講演

11:00 第1セッション
アジア太平洋地域の動向と日本・NZ両国への影響

12:30 昼食会(ニュージーランド料理をご用意しております)

14:00 第2セッション
日本・NZ両国のビジネスにおけるイノベーション

16:00 第3セッション
気候変動と持続可能性に対する日本とNZの取り組み

17:30 会議総括と閉会挨拶

5月15日(木) パートナーシップフォーラム 立夏の夜宴 場所:国際文化会館(東京六本木)

時 間 内 容

18:00 カクテルパーティ

18:45 夕食会
ブッフエスタイルの日本料理と和の催し

20:30 終了



**Japan New Zealand
Partnership Forum
2008**

主催

NZ INTERNATIONAL
BUSINESS FORUM
www.nzibf.co.nz

協力



JAPAN/NEW ZEALAND
BUSINESS COUNCIL (INC.)



スポンサー

本フォーラムでは、ゴールドまたはシルバースポンサーを募集しております。

お問い合わせ

ニュージーランド インターナショナル ビジネスフォーラム
執行役員 スティーブン・ジャコービ

PO Box 26
ニュージーランド、ウェリントン
電話：(64) (29) 472 5502
ウェブサイト：www.nzibf.co.nz
Eメール：stephen@nzibf.co.nz

ニュージーランド大使館内
パートナーシップフォーラム事務局

〒150-0047
東京都渋谷区神山町20-40
電話：(03) 3467 2271
ウェブサイト：www.nzembassy.com/japan
Eメール：tomoyo.miyazaki@mfat.govt.nz